

令和7年12月

上段:令和7年度 下段:令和6年度

項目	小項目 (重点目標)	評価指標及び目標値	R7 評定	評価資料	R7 評価	アンケート結果				
						4	3	2	1	分らない
仲間を大切に する子	○生命の大切さを 自覚する道徳教育 の推進	○命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切 にしている。 【目標値】 ○教職員・保護者の8割以上が肯定	A	教職員アンケート	A	14 38	86 62	0 0	0 0	
				保護者アンケート	A	36 29	64 59	0 6	0 0	
		○いじめの早期発見・早期対応・未然防止 に努めている。 ○児童が安心して通える学校づくりに取り 組んでいる。 【目標値】 ○教職員・保護者の8割以上が肯定	A	教職員アンケート	A	57 62	43 38	0 0	0 0	
				保護者アンケート	A	64 41	36 47	0 6	0 0	
徳	所見	○学校では、日常的に草花の栽培活動に取り組んでおり、成長を楽しみながら世話をしている。 また、生活科や理科において昆虫の観察・飼育活動を行うことで、生き物への愛情を育むことが できたと同時に、命を守ることに大変さや新たな命を生み出すことの難しさなども体験することが できた。 ○日々、子どもたちとのコミュニケーションを密に図り、学級担任だけでなく、全教職員が児童 理解に努めている。また、毎月「心の健康調べ」を実施し、その時々子どもたちが抱えている 悩みに対応できるようにしている。								

【評価基準】 A:目標を達成(80%以上) B:おおむね達成(60%以上) C:あまり達成できていない(60%未満)

項目	小項目 (重点目標)	評価指標及び目標値	評価	評価資料	評価	アンケート結果				
						4	3	2	1	分らない
仲間を大切に する子 徳	○人権・同和教育 の充実	○豊かな関わりを育む異年齢集団活動 が充実している。 【目標値】 ○教職員・保護者・児童の8割以上が肯定	A	教職員アンケート	A	71 75	29 25	0 0	0 0	
				保護者アンケート	A	50 47	43 35	0 6	7 6	
		○友達に対して、思いやりのある言動が できている。 【目標値】 ○教職員・保護者・児童の8割以上が肯定	B	教職員アンケート	A	14 25	86 50	0 25	0 0	
				保護者アンケート	A	21 24	79 46	0 12	0 0	
				児童アンケート	A	86 96	14 /	0 /	0 4	
		○特別支援教育 の充実	○児童一人一人の実態を把握し、個に 応じた指導を行っている。 【目標値】 ○教職員・保護者の8割以上が肯定	A	教職員アンケート	A	14 37	86 50	0 13	0 0
保護者アンケート	A				29 24	71 59	0 0	0 0		
所見		○清掃活動や週に1回の縦割り班遊び、「がんばり遠足」などで、異年齢の子どもたちが関 わる場を設定し、互いに協力し合って活動できるようにしている。また、今年度は、「人権の 花運動」の担当校となり、鉢植えの世話を縦割り班で行うようにした。高学年の子どもたち が下学年の子に対して優しく声を掛けたり、教えたりする姿が多く見られた。 ○「思いやりのある言動」については、具体的な行動礼を明確化し、継続的な指導を図る。 ○複式学級ではあるが、児童数が少ないため、一人一人の実態をしっかりと把握して指導 を行っている。複式の授業で、指導者が不在の時間帯がどうしても生まれてしまうが、様々 な工夫をしながら個に応じた指導の充実に向けている。								

【評価基準】 A:目標を達成(80%以上) B:おおむね達成(60%以上) C:あまり達成できていない(60%未満)

項目	小項目 (重点目標)	評価指標及び目標値	評価	評価資料	評価	アンケート結果				
						4	3	2	1	分らない
考え、表現する子	○基礎・基本の確実な定着	○児童には、発達段階に応じた基礎的な学力が身に付いている。 【目標値】 ○教職員・保護者・児童の8割以上が肯定	A	教職員アンケート	A	0 13	86 62	14 25	0 0	
				保護者アンケート	C	14 6	64 53	14 29	8 12	
				児童アンケート	A	57 100	38 /	5 /	0 0	
		○家庭での学習にしっかり取り組んでいる。 【目標値】 ○家庭学習時間(低30分、4年以上は学年×10分以上) ○保護者・児童の8割以上が肯定	A	家庭学習時間	A	目標時間達成率 61%				
	保護者アンケート	A		14 0	79 82	0 18	7 0			
○少人数を生かした学習指導	○教師一人一人が個に応じた学習指導に努めている。 【目標値】 ○教職員・保護者・児童の8割以上が肯定	A	教職員アンケート	A	14 20	86 80	0 0		0 0	
			保護者アンケート	A	29 12	71 64	0 6	0 0	0 18	
	○協動的な学びの確保	○教師一人一人が「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、「学び合い」を取り入れた授業づくりに努めている。 【目標値】 ○教職員の8割以上が肯定	C	教職員アンケート	C	14 0	43 75	43 25	0 0	
所見	○基礎的・基本的な学力の定着については、個人差が大きい。少人数のよさを生かし、教員が一人一人の実態に応じた指導・支援に努めることで、より一層の定着を目指している。「読み・書き・計算」の基礎的な力については、繰り返し学習を行ったり、漢字・計算検定を学期始めと学期末に行ったりしている。また、「学び合い」の場を意図的に設定することで、「主体的・対話的で深い学び」の実現に努めているところである。 ○校内研修や相互参観を通して、より実践力を高め、日常的に取り入れることができる学び合いの擬態礼を共有し、授業設計への位置付けを徹底する。 ○複式学級での授業において、一方に教員がいない状態がどうしてもできるが、その時間を児童同士で学び合いができるような力を今後付けていきたい。									

【評価基準】 A: 目標を達成(80%以上) B: おおむね達成(60%以上) C: あまり達成できていない(60%未満)

項目	小項目 (重点目標)	評価指標及び目標値	評定	評価資料	評価	アンケート結果					
						4	3	2	1	分からない	
やる 気 で 頑 張 る 子 体	○挨拶・返事等生活習慣の確立	○児童は、進んで元気な挨拶をすることができる。 【目標値】 ○教職員・保護者・児童・地域の8割以上が肯定	B	教職員アンケート	A	0 13	86 87	14 0	0 0		
				保護者アンケート	C	14 18	43 34	36 18	7 18		0 12
				児童アンケート	C	14 96	43 /	36 /	7 4		
				地域アンケート	A	50 31	50 69	0 0	0 0		0 0
	○体力づくりの推進	○児童には、発達段階に応じた体力が付いている。 【目標値】 ○教職員・保護者・児童の8割以上が肯定	C	教職員アンケート	C	0 25	43 75	57 0	0 0		
				保護者アンケート	C	7 29	50 47	29 12	14 12		0 0
				児童アンケート	A	52 86	33 /	9 /	6 14		
	所見		○挨拶については、その都度指導を繰り返しているところである。元気よく挨拶ができていることが多いが、「いつでも、どこでも、誰にでも、自分から」という点では、まだまだだと感じる。今後も、指導を継続していきたい。また、家庭でも自然と挨拶が交わされるよう、啓発活動も行っていきたい。 ○地域の特性があり、日常的に運動する経験が少ない児童が多い。よって業間や昼休みなど、外遊びを奨励したり、放課後の体育活動を充実させたりして、運動機会を増やすようにしている。楽しく活動しながら、運動に親しむ児童の育成に今後も努めたい。								

【評価基準】 A:目標を達成(80%以上) B:おおむね達成(60%以上) C:あまり達成できていない(60%未満)

項目	小項目 (重点目標)	評価指標及び目標値	評定	評価資料	評価	アンケート結果					
						4	3	2	1	分からない	
学び続ける子	○夢と希望を持ち、最後までやり抜く心の育成	○夢と目標を持ち、最後までやり抜く心が育っている。 【目標値】 ○教職員・保護者・児童の8割以上が肯定	A	教職員アンケート	A	14 25	86 75	0 0	0 0		
				保護者アンケート	B	36 12	43 52	7 18	14 6		0 12
				児童アンケート	A	71 100	24 /	5 /	0 0		
	○学習習慣・読書習慣の形成	○豊かな心や言葉を育む読書活動が推進されている。 【目標値】 ○教職員・保護者・児童の8割以上が肯定	A	教職員アンケート	A	57 62	43 38	0 0	0 0		
				保護者アンケート	B	21 6	51 18	21 58	7 18		0 0
				児童アンケート	A	43 71	52 /	5 /	0 29		
所見		○学校では、目標やめあての設定をして教育活動を行っている。その目標に向けて、児童が努力を続けられるよう、支援を行っている。粘り強く取り組むために、叱咤激励をしながら、その時々で振り返りや評価を行い、自信につながるよう、今後も支援していきたい。 ○児童数減少により、図書委員の活動は制限され、毎日図書室を開放することは難しい現状である。だが、読書ボランティアの方による「読み聞かせ」や、毎月の「テーマ本」の設定など、図書館主任を中心に様々な取組を行うことにより、児童の読書に親しむ姿勢は見られるようになってきている。また、今年度は、「家庭での読み聞かせ」を依頼する活動を長期休業に行い、家庭での読書推進も図っているところである。									

【評価基準】 A:目標を達成(80%以上) B:おおむね達成(60%以上) C:あまり達成できていない(60%未満)

項目	小項目 (重点目標)	評価指標及び目標値	評価	評価資料	評価	アンケート結果					
						4	3	2	1	分からない	
学び続ける子 知徳体	○郷土愛の醸成	○地域の人・自然・文化を生かした教育活動が展開されている。 【目標値】 ○教職員・保護者・地域の8割以上が肯定	B	教職員アンケート	A	14 13	86 87	0 0	0 0		
				保護者アンケート	C	7 35	43 65	43 0	7 0		0 0
				地域アンケート	B	50 31	25 63	25 0	0 0		0 6
		○学校便り、学年通信、ホームページ等で学校の情報を積極的に発信している。 【目標値】 ○教職員・保護者・地域の8割以上が肯定	A	教職員アンケート	A	29 62	71 38	0 0	0 0		
				保護者アンケート	A	64 41	36 59	0 0	0 0		0 0
				地域アンケート	A	50 38	50 49	0 0	0 0		0 13
	所見	○中山町のよさを理解し、ふるさとを愛する児童の育成のためには、地域教材を生かした学習活動を実施していくことが必要であると考え。今年度は、単発的に「よもぎ」「ホタル」「栗拾い体験」等、地域学習を行った。今後、他の教育活動との兼ね合いを考えながら、持続可能な取組となるよう、計画を立てていきたいと考える。 ○ほぼ毎日のホームページの更新、毎月発行している学校便りにより、学校の様子を地域・保護者の皆様に知らせることに努めている。									
学校運営協議会委員の総評		本年度の教育活動について、学校運営協議会委員の皆様と話し合い、以下のような意見をいただいた。 ○児童数がかなり減少しているが、上級生が下級生に対して優しく接したり、一緒に遊んだりする姿が多く見られること、学校行事に一生懸命に取り組み、協力しながら活動している様子が伺えることから、児童がよりよく成長していると感じる。 ○進んで気持ちのよい挨拶ができる児童が多く、決まりを守って落ち着いた学校生活を送ることができている。 ○鉛筆の持ち方や姿勢、偏食等は、家庭の協力なしでは改善されない。学校生活の中で指導を継続するとともに、保護者への啓発が必要であろう。 ○全学級が複式となり、先生方の指導が大変だろうと予想される。少人数のよさを生かしながら、しっかりと児童に基礎的・基本的な学力を定着させるとともに、思考力・表現力等、これからの社会に生きて働く力を身に付けさせてほしい。 ○今年度、ホタル学習が再開されたが、地域教材を生かした学習を今後より推進していくとともに、保護者にも伝えていくことが求められている。									